

データ型小論文の実際

国語監修・執筆

幸田国広

■ 今回のポイント

- ① 目的による表・グラフの使い方
- ② データを読み取り、分析する
- ③ 論点を見つける

【解説】

① 目的による表・グラフの使い方
表・グラフは、目的によってさまざまな種類があります。データを正確に読み取るために、表やグラフの特徴をつかんでおきましょう。

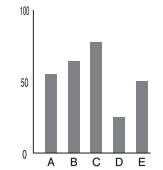
② データを読み取り、分析する
グラフは、何らかの事実をわかりやすく視覚的に再構成したものです。グラフがどのような事実を表しているのか、全体的な傾向や特異点に注目しましょう。

③ 論点を見つける
データから読み取れる傾向・特徴やその背景を考え、そこからイエス・ノーが言えるような「問い」を考えます。データ型小論文も、問いを見つけたら、書き方はテーマ型や課題文型と同じです。

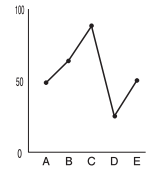
● データ型小論文とは
グラフや図表など、視覚的な資料を読み取って、自分の意見を展開する小論文のこと。

● グラフの種類と目的
次のグラフはどのようなことを表すのに適しているでしょうか。

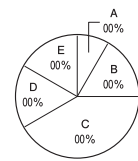
棒グラフ



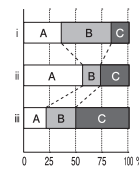
折れ線グラフ



円グラフ



帯グラフ



● グラフを読み取る

※番組のチャプター④を参考にしてください。
 番組でとりあつう、年齢別の人口構成の変化を、一九五〇年から二〇六〇年までの間でまとめたグラフ。このグラフから何が読み取れるか考えてみましょう。

■ グラフを読むための三箇条

- i 何についてのグラフかをつかむ
- ii 全体的な傾向を把握する
- iii 特異点を見つける

● データ型小論文の論題例

「グラフAとBからうかがえる、日本社会のこれからについて、あなたの考えを述べなさい。」

※番組のチャプター⑤を参考にしてください。

小論文を書くための手順

- 手順一 それぞれのグラフから読み取れることは何か
- 手順二 二つのグラフを関連付けて考える
- 手順三 論点を見つけ、意見展開ができそうな疑問文を考える



▼番組を見て、グラフA・Bを見ながら、意見展開ができそうな疑問文を考えてみましょう。

※注意点

データを単純に読み取るだけでは、小論文は書けません。読み取った事実から、どんな問題や背景があるのか、というところまで考えることが大切です。

まとめ

グラフが示す事実から、今後の社会をイメージして、どのような問題が起きそうか、考えてみましょう。そこから、議論ができそうな問いを立てるのがポイントです。